

## 平成24年 第16回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成24年12月25日(火曜日) 午前10時開会／午前11時10分閉会  
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室  
出席委員 上田政憲、石橋雅之、畑中直子、旭直樹  
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、米屋課長補佐

上田委員長 平成24年第16回教育委員会定例会開会宣言  
挨拶  
それでは議案35号、36号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第35号 加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更  
について

■ 議案第36号 加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更  
について

田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長 では、委員さん方からご質問はございますか。

石橋委員 今ほど建造物、それから樹木の追加について説明がありましたが、これはまだまだ増えていくものですか。

田嶋課長 増えるということはないです。基本的には、50年以上経った伝統的様式で建てられた建物ということでございます。環境物件というか指定範囲の中で規制の対象にはなりませんけども、今から新築してもそれが対象物件に入ることはありません。価値がある建物がこれ以上出てくることはまずないと思います。

石橋委員 わかりました。

上田委員長 他に何かございますか。よろしいですか。19ページの伝統的建造物建築物の表なんですが、数字を足してないのではないですか。主屋の棟数は62ではないですか。ちょっと気になったもので。

田嶋課長 そうですね、62です。すみません。

旭教育長 確認ですが、これは文科省に申請し、文化庁に報告しないといけないのですね。

田嶋課長 はい。

旭教育長 これはお願いですけども、たくさんの家とか土蔵があつて、こういう場合、今、委員長さんが言われたように盲点になるのは、抜けるというか間違いですね。前にもあつたと思うので、今一度、担当者につづつ確認して間違えないように申請してほしいと思います。もう一点お願いですけども、加賀市は、橋立と東谷の二つの伝統的建造物群保存地区を有しておりますし、それ

から今、三つ目の伝統的建造物群の調査をお願いしようとしている状況です。事務局としては大変だと思うのですが、橋立と東谷の有効活用ですね。特に東谷については、いろんな全国の過疎地域といいますか、東北に友達がいるので聞きましたら、囲炉裏を囲んで読み聞かせとか、人形劇とか、加賀市はいっぱい郷にそういう民間団体の方々が各学校に入って話をしているんですね。予算は中々つけられないけれども、文化課だけではなく生涯学習課も含め、東谷地区の伝統的な空き家を活用して子どもを寄せる政策をする。なぜ生涯学習課かという図書館があるからです。そういうところが発信してあげて、読み聞かせをするような方々にぜひ使ってもらおうという仕掛けを事務局がしないとだめなのではないかと思うんです。こういう汗を流すようなことを、来年度ぜひ発信してほしいというのが教育委員の一人としてのお願いです。なんでそういうことを言うのかというと、市民の声です。図書館に出入りしている読み聞かせのお母さん方、学校に出入りしている PTA のお母さん方の、いつでも子どもと接したい、そういう機会と場所さえ与えてもらえればいつでもただでもいいという風潮です。せっかくいい場所があるわけですので、地元の人と図って子どもを寄せ、保護者も寄せ、それからお年寄りでも一芸に秀でたバイオリンでもいいし、琴でもいいし、そういう発表の場を市民会館以外の橋立や東谷の伝統的建造物群保存地区であるような仕掛けを事務局がやるかやらないかは意志一つです。予算化はできないので、そういう声かけを担当者に呼びかけてほしいと思います。担当者の熱意に期待したい。以上です。

田嶋課長

大変面白いご提案をいただきましてありがとうございます。民話につきましては、柳田國男の遠野の民話が非常に有名ですけども、あれは実は加賀市の山下久男先生がほとんど全て採録をされて柳田國男さんに提供したものが遠野物語になっています。山下久男先生は南郷出身の方ですが、民話において大変有名な方でして、例えば全国的にも知られている「舌切り雀」という民話がございますが、あれは全国に類似した話がたくさんあるんですが、知られている「舌切り雀」は加賀市の三谷地区に伝わっていた話がベースになっていると言われております。それと非常に似たものが東谷にも西谷にもあるということでございます。ですからこの山下久男先生の功績を知ってもらいながら、そういう民話の語り聞かせを、東谷地区ですというのは大変面白い。実際にこれをやっていけば、東谷に注目していただける内容になると思うので、少し検討してみたいと思っております。

上田委員長

他にございませんか。それでは議案 35 号と 36 号を一括して採決したいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

全委員

全員挙手

上田委員長

ありがとうございます。全員一致で可決されました。それでは報告案件に移りたいと思います。報告第 28 号について梶谷課長をお願いします。

■ 報告第 28 号 平成 24 年第 6 回加賀市議会定例会（12 月）について

梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 旭教育長 質問はございませんか。  
追加ですが、兼ねてから懸案になっておりますスクールソーシャルワーカーについて、今、事務局長を中心に学校指導課を通して予算化できるようにしています。必要性をよくわかっているんですが、加賀市の場合、誰をあてるか非常に頭が痛いです。ただ、こちらの含みはあるんですけども、来年に入りましたら、定例会が終わった後でもご相談したいと思います。来年の一つの目玉になっていく施策ですので、また、いい人がいたら教えていただければ候補としてあげたいと思います。今のところ二人予定がありますが、市内全域を回ることはできませんので、教育センターに拠点を置いてもらって、重点的に家庭は絞りますけども徹底的に家の中に入って話をしてもらう。単なる訪問員ではなくなってくる。そのための予算措置というのは当然事務局の方でやってもらっているんですね。

掛山局長 要求はしております。

上田委員長 人選は難しいですかね。

旭教育長 他市ではスクールソーシャルワーカーを置いているんですが、元校長とかそういう方々がやっておられて、どうしても学校の先生というスタイルです。もちろんそのことは意識しないようにしていますが、そういう問題を抱えるご家庭は構えてしまう傾向にあるので、それを取っ払って加賀市には教員以外で置きたいと思います。杉並区の場合は社会福祉士です。

上田委員長 社会福祉士の資格がないといけないのですか。

石橋委員 ないといけないというわけではないです。

旭教育長 加賀市の場合、その資格を持っておられる方がいるんですけども、病院に入ってしまったら、首長部局の地域福祉課に入ってしまったら、他はいっぱいおられるんでしょうけども、こういう臨時で社会福祉士という方は中々いないんですよ。それで校長 OB の方や元教員に入っていただくのは一時しのぎで、生徒指導の延長になってしまうんです。結構エネルギーの要る仕事だと思いますので、一回休みたいというのもわからないでもないんです。そういう状況です。

上田委員長 それでは報告 29 号に入りたいと思います。梶谷課長お願いします。

■ 報告第 29 号 平成 25 年第 1 回加賀市議会定例会（3 月）日程について

梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 はい、教育長。

旭教育長 中学校と小学校卒業式の教育委員の割り当ては、次回の教育委員会で出ますか。

宮本次長 1月ないし2月にご案内したいと思います。

旭教育長 2月で間に合いますか。教育委員会がいつも月末ですから、1月に出せるよう要望します。出せなかったら仕方ないですが。

掛山局長 1月に出してください。

宮本次長 わかりました。

上田委員長 その他、特にございませんか。それでは、その他にまいりたいと思います。その他(1)について中矢次長、説明お願いいたします。

■ その他(1) 古九谷産地論争紹介 DVD について

中矢次長 資料に基づき説明

上田委員長 これにつきまして、何かご質問はございませんか。石橋委員どうぞ。

石橋委員 デザインパッケージも確定ですか。

中矢次長 はい。そのようなかたちで確定しております。

旭教育長 補足しますと、五色の九谷とって、五色を散りばめている。それを意識して作ったんですね。

上田委員長 せっかく作るのですから、ぜひ上手に活用してほしいですね。他にないようでしたら、その他(2)について、ご説明お願いします。

■ その他(2) 「古九谷再興物語 青手九谷 吉田屋の魅力展」について

中矢次長 資料に基づき説明

上田委員長 これにつきまして、何かご質問はございませんか。

石橋委員 これは展示だけなんですか。

上田委員長 はい、中矢次長。

中矢次長 私どもが直接関与いたしますのは、この美術展のみでございます。ただし、地域振興部が中心になりまして、チラシの2面にごございます下の欄の祝祭広場では、「加賀温泉郷フェスティバル 2013 加賀のおもてなし〜味・わざ・芸能〜」というものを、ほぼ同じ期間にするということで、レディカガ、それから山代の大田楽、山中節、元気劇場のHEROZ とかが、連日大阪の方々にお披露目します。それから「味」といったものをこちらからたくさん持っていくということは聞いております。詳細については申し訳ございませんが、わかりません。それから中島誠之助先生に今回の DVD でナビゲーターをしていただきましたので、初日に講演会をしていただくことになっております。以上でございます。

掛山局長 お手元に招待券を 10 枚ずつお配りさせていただきました。もし、関係者の

方で大阪近辺におられる方、行かれる方に差し上げる機会がありましたら、ご希望の数を言っていただければすぐに対応します。

上田委員長 事務局に言えばよろしいですか。

掛山局長 はい。またお知らせ下さい。今、中矢次長が言いましたけども、同時に物産展が開催されております。市内の企業が参加されており、見所もあります。赤絵の話はされましたか。その話もお願いします。

中矢次長 はい。詳しく申し上げます。これより少し早いのですが、実は1月6日から1月24日まで、阪急梅田で青手の展覧会をしているときに、京都の高島屋という百貨店で同じ九谷焼でも青手ではなく赤絵と金彩の加賀赤絵展という名称の展覧会が開催されます。こちらは約150点の赤絵の九谷焼を一堂に集めております。直接加賀市は関わっておりません。小松市が中心となっておりますが、私ども加賀市も出品協力をさせていただいておりますので、ちょうどこの16日以降、重なっている期間がありますので、大阪梅田と京都を掛け持ちする。青手と赤絵の両方の九谷焼展覧会があるということになりました。以上です。

石橋委員 委員長すみません。

上田委員長 はい、石橋委員。

石橋委員 古九谷再興物語魅力展の招待状はあるんですか。

掛山局長 はい。

石橋委員 実際は入場料800円のところを無料で入れるということは、それなりのお値打ち感がありますね。もう一つは加賀九谷陶磁器協同組合、これもチラシがないとわからない。

掛山局長 チラシは今度お持ちします。

石橋委員 それもあわせてお願いします。

旭教育長 この赤絵展は小松市が主催するわけですね。何でもすると焦点がぼけますよ。

中矢次長 はい。加賀赤絵展は朝日新聞社と小松市の両主催でされます。

掛山局長 加賀市は後援していますね。

中矢次長 加賀市は出品協力という程度でございます。多少ですが、こちらの招待券も美術館に届いております。最終的に赤絵展は小松博物館と小松博物館近辺の2～3のミュージアムで巡回展があります。ちなみに吉田屋展は巡回展というよりも凱旋展を行います。これは2月16日～3月20日まで、梅田本店で展示いたしました吉田屋の名品をそっくりそのまま、まだ個人に返さずに大聖寺の九谷焼美術館を第1会場、山代の窯跡展示館を第2会場として展示したいと考えております。

上田委員長 他にご質問がないようですので、その他(3)について谷口課長お願いします。

■ その他(3) 第1回加賀温泉郷マラソンについて  
谷口課長 資料に基づき説明

上田委員長 全国健勝マラソン加賀温泉郷大会が改称して、この加賀温泉郷マラソン 2013 となったわけですね。

谷口課長 はい。

上田委員長 何かお聞きになりたいことはございませんか。はい、教育長。

旭教育長 T シャツはインターネットから申し込めるのですか。

谷口課長 はい。あくまでもランナーの申し込みのところに「購入する」「購入しない」と選択項目としてあげており、一般販売はしていません。

旭教育長 確認いいですか。最後の方の語尾がわからなかったのですが、一般販売はしていないのですか。

谷口課長 していません。

旭教育長 走らないけど買いたいという人は買えないんですね。

谷口課長 ランナーのためのものなのです。

掛山局長 そうでしたっけ。

谷口課長 例えばですけど、500 円払ってファンランを申し込みしていただければ、当日は 2,500 円ですけども、予約すると 500 円割引の 2,000 円でご購入いただけます。

掛山局長 「T シャツは大会当日も販売いたしますが、数に限りがあります。」と書いてありますが、申し込みした人は絶対にあたるんですね。

谷口課長 当日の販売は 500 円高く、数に限りがありますが、インターネットで予約された分に関しては先ほど申しましたとおりです。

旭教育長 インターネットで買うなら 2,500 円で買えるということですね。

谷口課長 違います。

旭教育長 インターネットでまず買えるのか買えないのか。買えるのならどう買えるのか。

谷口課長 インターネットでは 2,000 円で安く買えるわけですが、結局 500 円はランナーとして参加するので実際には 2,500 円になるということです。現地を買う 2,500 円と値段は一緒なんですけど、当日手に入らない場合があるということです。

旭教育長 これは申し込んで手に入らない場合があるということですか。

谷口課長 予約で申し込んだ場合は間違いなく手に入ります。ただ、値段的に安いという感覚ではなくて、当日の 2,500 円と同じ料金だと思っていただければと思います。

掛山局長 簡単に言うと、インターネットで事前予約する方は 2,000 円で販売します。あとは当日販売するけども 2,500 円だということです。今の話ですと、インターネット申し込みできないんです。要するにランナーとしてしか申し込みができないですから、ランナー以外は当日の販売しかないということです。

石橋委員 ということは、走らなくても当日会場に行けば買える可能性があるということですね。マラソンの申し込みをした人にしか買えないというわけではないんですね。

谷口課長 　　そういう意味です。

石橋委員 　　もう一点質問です。なぜ予約をとって一般販売しないのですか。例えば赤字ならしない方がいいですが。

谷口課長 　　実は、ミズノさんの協力で作っているのですが、在庫を残したくないからです。要は、売れるか売れないかわからないので、予約でまず確実な数字を掴みたいというのがありますし、できれば走っていただきたいというのがあります。

掛山局長 　　要するに、事前予約をして数を把握してから作りたいというだけの話なんです。申し込んだ数をベースにして、そのTシャツを作りたいということです。矛盾する話なんですけども。

石橋委員 　　一般の人でも事前予約でただ売ればいいのではないかという話で、走らなくても、当日現地に来なくても買えるようにする。買う人がいるかどうかわかりませんが、売って利益があるのなら、少なくともこういった次の費用に充填できるのではないかと思うわけです。それは予約申し込みプラス 50 枚なら 50 枚にしておけばいいんです。予約を取らないのはもったいないと正直思うんです。今回は仕方ないにしても、ぜひ次回一つのブランドみたいなかたちにしていけば、買いたいという人がいるかもしれないですから。それから、この説明の中ではそういうニュアンスが全くない。事前予約しなければ買えませんという感じではないし、当日来れば少しありますよという感じなんです。非常に曖昧だという気がします。Tシャツは非常に人気のあるものなので、売れるものはきっちり売って、必要な経費は稼げばいいと私は思います。

谷口課長 　　すみません、次回から検討させていただきます。ただ、検討会の中でTシャツなんかをそこら中で売っても、いらないという方の意見も強くあったもので、私どもとしては非常に不安だったというのが現実です。ただ、フタを開けてみたら意外と買いたいという意見もあったのかと思うのですが、その辺はよくわかりません。申し訳ございませんが、次回から検討したいと思います。

上田委員長 　　基本的にラストの文は一般の人でも、走らない人でも買えるという印象はありますね。ちょっとお聞きしたいんですが、もちろんこれまでとコースが変わっています。新しいコースにされたと思うんですが、参加料がだいぶあがっていますね。このあたりの説明が一応いるのではないですか。

谷口課長 　　まず、全く新しいコースだということで、いろんな選考として 700～800 万円かかったということと、垢抜けする大会を目指しておりましたので、ある程度グレードを高くする必要がある。人気大会は抽選で即日いっぱいになったりするんですが、最近いくらブームとはいえ、全て底上げする必要がある。例えば、いろんなマラソンの種類といいますか、都市型の大阪、東京マラソンもあれば、海側みたいに地域と密着して一体となって楽しもうというマラソンもございます。ちなみに大阪や東京なんかでは、フルは1万円が常識になっています。決して高くない。実際フタを開けてみたら、先ほど言いまし

たように流行っていて、飛行機を使ってまで参加する。私どもも意外というか、確かに趣味でそういうお金は惜しまずに道楽というかたちで使うこともございます。なので、今はそれほどなのかとびっくりしている状況でございます。

上田委員長 さっきお聞きしました、昨日までの時点で600名の参加申し込みがあったということでちょっと安心しておるんですけども、随分大幅に値上げしたんだなと思ひまして。

旭教育長 補足ではないんですけども、教育委員の皆さん方にぜひ第1回加賀温泉郷マラソンについてお知りおき願いたいことは、市をあげての一大イベントといえますか、加賀市と山中町が合併して来年8年目になるんですけども、帰属意識を一つにするという意味もあります。市民は、加賀市は一つであるという大きな行事がないもので、こういうマラソンを通して、新しい加賀市は一つなんだと、加賀市と山中の壁をとっばらって帰属意識を作り出す一つの行事だということが一つ。そうすると、地域協議会とか、各山中・山代・片山津の地元の応援を何とでもいただかないといけない。みんな浴道に出て、拍手して迎える体制づくりを、教育委員として呼びかけていかないとけない。そういうことで今年も来てくれたね、というような加賀温泉郷サポーターみたいなものを作り出していく、温泉観光とも関係してくる大事な行事だと思っております。走りたいものが走る行事ではない。地域密着型のマラソンだと位置づけておりますので、競技力養成とか、世界のトップランナーを出す大会ではない。だからこの背景には、家族とか高齢者を呼び込んで、健康志向でこれをおもてなしするという意向がある。そうすると、たくさん来てもらうことは一番大事なんですけども、我々係になっている者達、特にスポーツ課を中心として一番忘れてはならないのは、事故が起これないということ。たくさん集まれば絶対何かあるんで、たくさん集まったからそれでいいというのではだめです。今年は何とか無事に終わったというつもりで、絶えず安全安心体制を心がけてセキュリティについておろそかにならないか、我々教育委員会がチェックしなければいけない。こういう点を見ていただきたいと思ひます。以上です。

上田委員長 ありがとうございます。確かに主催者側だけではなくて、加賀市民全体にPRできるような対策を考えていただきたいです。

旭教育長 しつこいのですが、私が言った背景にTシャツがあるから、本来ならば全市民にこれを買っていただきたい。加賀市だけのオリジナルのデザインで、どこでも買えないわけですからいいなと思ひます。広告を見たある市民から、走らないけども買いたいという声もありました。サッカーでいうとサポーターですよ。それを増やせば増やすほど、Tシャツを買ってもらうことによって運営費に充てられるという発想で、いきなりはできないかもしれませんが、いろんな角度で経営戦略を持っていった方が、市民のものになると思ひます。だからTシャツは一つの戦略だと思うので、インターネットから買え

る体制をつくる方が賢い。そういう市民の声もあるわけですから、ひとつ参考にしておいていただきたい。

上田委員長 その辺よろしく願いいたします。

石橋委員 一点、コースだけ確認したいのですが、片山津温泉のところは、ここだけ行って戻ってくるのですか。

谷口課長 実は 42.195 km をきちっと測ると非常に難しいことだと私も今回初めて知ったのですが、ここで距離調整しております。それと小塩辻もある意味距離調整ですし、狭隘な道路だということもあります。庄の町の中も似たように狭く、8号線の拡幅が遅れております。後々そこは開通される場所ですが、とにかく8号線と国道を止めることはありえない中で、選定箇所が非常に少ないということもありますし、ふるさと駅伝で少し慣れてらっしゃるということもあります。何年か先に公認をとる準備は当然できております。認定員に測ってもらって申請するだけですが、申請料と何かしらの事務の期間が必要で、今回それは見送りました。それは今言ったみたいに後々変わることは見えているからです。そうすると再測定の必要が出てくる場合もあるので、サンプルではない状況が起こってしまいます。

上田委員長 公認申請はもう少し後になるんですね。他に何かございませんか。よろしければ、その他(4)について梶谷課長お願いします。

- その他(4) 平成24年度新任教育委員研修会について  
平成25年2月5日(火) KKR 金沢にて開催の予定  
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 では、その他(5)について、これも梶谷課長お願いします。

- その他(5) 文部科学省 教育委員会の現状に関する調査(平成23年度間)について  
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 23年度の方ですか。

梶谷課長 そうです。

上田委員長 ホームページに関しては、どういう状態でしょうか。

掛山局長 その他でご報告させていただこうと思ったんですけども、先週開設しましたので、「加賀市教育委員会」と入力していただければ出てきます。教育委員会の議事録も名前入りで載っておりますので、その辺もまた見ていただきたいと思います。今日の議事録も掲載されていくことになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。教育委員会について、それから各課別に載っており、関係するところにもリンクするようになっておりますので、一度またホームページをご覧くださいと思います。

上田委員長 ありがとうございます。またじっくりお読みいただきたいと思います。最後に  
その他ございますか。

■ その他(6) PTA 連合会研究発表会について  
西出課長 説明

旭教育長 ここで聞くのもなんですが、加賀市の PTA のスタンスというのは、事務局と  
生涯学習課と話されて、県との連携はしないのですか。

西出課長 この会に関しましては、県の方に確認しましたところ、現在県から市へ派遣  
されていないそうなんです。

上田委員長 他にございませんか。

梶谷課長 次回の定例会の日程を決めていただきたいと思います。1月22日(火)午後  
3時はどうでしょうか。

全委員 大丈夫です。

梶谷課長 会場はまたお知らせします。

上田委員長 それでは、これをもちまして平成24年第16回教育委員会定例会を終了させ  
ていただきます。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。